

## 院内感染委員会活動報告

(院内感染委員会の目標)

1. 治療や介護を行う際に必然的に起こりうる患者、職員への感染伝播リスクを最小化する。(標準予防策の徹底)
2. 病院内外の感染情報を広く共有し、院内感染の危険性の認知の周知徹底を図る。(院内メール使用)
3. 院内感染発生時の迅速な対応などについて病院全体のレベルの向上を目指す。

(年2回の全職員対象の教育研修)

※6月に全職員対象の教育研修を実施しました。

内容：①身だしなみチェック ②標準予防策について 講師；院内感染対策委員

① (医療従事者としての身だしなみが出来ているか全職員対象で抜き打ちチェック)

期間；平成24年1月～4月

目的；スタッフが、清潔感があり衛生的にする事で患者さんに気持ち良く治療を受けて頂く。

病原菌を伝播させない。(感染しない、させない)

チェック項目； 1、髪・ひげ 2、白衣 3、爪・指 4、靴・靴下

結果； (1)毎回同じ人が守られていない

(2)改善状況に各部署間に差が出た

(原因；身だしなみへの意識の違いと各部署感染対策委員の指導の違い等)

まとめ 今後もチェックを継続して全部署が改善出来るよう努力していく。

② (標準予防策について講習)

標準予防策；感染症の有無や病態に関わらず、すべての患者に適応される感染対策

(1)血液 (2)すべての体液、汗を除く分泌物、排泄物 (3)損傷した皮膚

(4)粘液 等自分の物以外は感染性があるものとみなして対応

今回の研修では、院内感染対策上最も基本的で重要な手洗いをメインに

バリアプリコーション(ガウン、マスク、手袋着脱)の順序・注意点について実演、説明しました。

(衛生的手洗い)医療現場で通常行われる手指衛生は衛生的手洗いで除菌、殺菌を目的としています。

速乾式アルコール含有手指消毒薬；手指にまんべんなく塗りしっかり擦り15秒以上行う

抗菌液状石鹸；手洗いミスがないよう意識して洗浄消毒を行う(手洗い後水分をしっかり拭きとる)

(手洗いミスの生じやすい場所；親指、第一関節、指の間、手首)

今後も杉病院感染対策委員会は患者さんに信頼される医療サービスを提供して、医療の質の向上に寄与する事を目的とし積極的な取り組みを行っていきます。

検査室室長 平野 佳奈子